

(別 紙)

令和 2 事業年度
公益財団法人周南市医療公社
事業計画に関する書類

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

公益財団法人周南市医療公社

令和2事業年度 事業計画

我が国では、約800万人といわれる団塊の世代が後期高齢者となり、超高齢化社会へ突入する2025年問題への対応として、医療・介護・福祉サービスの整備が急務となっています。その一方で、社会保障財政の崩壊が懸念され、医療においても入院治療から在宅治療にシフトする施策を進めています。しかしながら、高齢化の進展状況には大きな地域差があることから、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制（地域包括ケアシステム）を2025年（令和7年）を目途に地域ごとに構築する必要があります。

こうした中、山口県では、平成26年6月に成立した「医療介護総合確保推進法」に基づき、平成28年7月に「山口県地域医療構想」が策定されました。

また周南市では、「山口県地域医療構想」を踏まえた上で、「周南市立新南陽市民病院公的医療機関等2025プラン」を策定し、周南医療圏における地域医療構想調整会議において病床機能の在り方について検討され承認されました。また、令和元年9月には厚生労働省が統廃合を含めた再編を検討すべき公立・公的病院として424病院を公表し、新南陽市民病院もその一つに挙げられました。このことを受け周南市は、今後も病床数を維持し、周南市西部地区の基幹病院としての役割を果たすことを市議会等で明らかにしているところです。

公益財団法人周南市医療公社（以下「医療公社」という。）の設立目的は、「周南市及びその周辺の地域住民の健康の保持、公衆衛生の向上、高齢者の福祉の増進及び地域の保健医療体制の確立を図り、もって地域住民の医療及び福祉の増進に寄与する」こととしています。

この目的達成のための事業として、周南市立新南陽市民病院及び周南市介護老人保健施設ゆめ風車の指定管理者として周南市から指定を受け、市との緊密な連携のもと当該施設の管理運営を行うと共に、併設する訪問看護ステーション、指定居宅介護支援事業所を一体的に展開しています。サービス提供においては地域住民のニーズを的確に把握し、安心、安全で質の高い医療サービスと介護サービスを効果的、持続的に提供することで、市民の皆様をはじめ、医療従事者からも信頼される医療公社を目指しています。令和2事業年度は次の各事業の計画に基づいて取組を進めます。

1 病院事業

新南陽市民病院は、令和2年4月に開院20周年の節目を迎えます。

経営改善の核となる取組としてDPC対象病院に移行し、医療の標準化と効率化を図ると共に、一般病床20床を地域包括ケア病床に追加転換することで経営の効率化を図ります。また令和2年度は診療報酬改定が行われマイナス0.46%の改定となっておりますが、施設基準の申請・取得が適切になされるよう速やかな対応を行います。

また、働き方改革（同一労働同一賃金）の実施や施設の老朽化に伴い人件費や設備費用の増加が見込まれます。今後の人口減少や透析患者増加に対応できる病院となるために、施設の充実整備を提案していくなどをして、以下の事業に取り組めます。

- ① DPC移行に伴う業務の能率化・効率化の推進及びそのために必要な体制・機器等の整備
- ② 一般病床のうち20床を地域包括ケア病床に追加転換し、計50床の地域包括ケア病棟として、急性期から回復期まで総合的に対応するための医療提供の強化と効率化
- ③ 2次及び3次救急病院間の医療連携のさらなる強化による患者数の確保
- ④ 地域包括ケアシステム推進のため、地域連携室の体制強化による病院と病院、病院と診療所との連携の充実
- ⑤ 診療報酬改定に伴う施設基準の見直しと適正な申請
- ⑥ 健康診断及び透析患者受入体制の強化
- ⑦ 中山間地域（中須診療所、国民健康保険鹿野診療所）の医療体制確保と共に、高齢化に伴う交通弱者等に対する将来に向けた交通手段や遠隔診療等の研究・検討の開始
- ⑧ 医学及び医療の向上に関する調査研究（治験等）及び各種研修生及び職場体験学習生徒受入等による人材育成
- ⑨ 市民健康講座等の地域住民への啓蒙活動
- ⑩ 石油コンビナート及び重化学工業等の立地に伴う、事故・災害対応に係る緊急機能を担う医療の提供
- ⑪ 2次救急に係る病院群輪番制病院としての医療の提供

2 介護老人保健施設事業

高齢者の福祉の増進のため、介護保険事業サービスが安定的、持続的に提供できるよう経営の健全化に努めるとともに、隣接する市民病院及び訪問看護ステーションや指定居宅介護支援事業所等との連携を強化します。また「周南市介護老人保健施設事業経営戦略」により収益増加に

向けた利用者の確保を目指します。

高齢者の自立支援と尊厳の維持及び家族の介護負担を軽減する役割を担いながら、次の事業に取り組みます。

- ① 利用者に選ばれる施設となることによる入所率の高位安定
- ② ケアプランの充実及び各職種のチームワークによるトータルケアの充実
- ③ 通所リハビリテーションの充実と利用率の高位安定
- ④ 利用者・家族との信頼関係の維持・構築
- ⑤ 2次救急病院である新南陽市民病院との連携による利用者への安心・安全体制の提供
- ⑥ 学習療法を促進することで脳機能の活性化による認知症の維持改善を図る
- ⑦ 居宅介護支援事業所ゆめ風車との連携による利用者の確保
- ⑧ 各種研修生及び職場体験学習生徒受入等の人材育成

3 訪問看護ステーション事業

病院退院者及び介護老人保健施設退所者の在宅看護を中心に、市や地域の保健・医療・福祉サービスとの緊密な連携の下に、生活の質を重視した在宅医療ができるよう支援を行います。また、市街地から離れた山間部等への対応についても新南陽市民病院と連携し、安心・充実したサービスの提供を行います。

4 居宅介護支援事業

要介護状態等の利用者が、可能な限り、その居宅において自分の能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが総合的、効率的に利用できるよう支援を行います。また、利用者が適切なサービスの選択ができるよう他の事業者との連携を強化し、相談体制の充実を図ります。

5 その他

各種講座への医師等の派遣、在宅酸素療法患者の集まりである「周南HOTの会」への支援。「糖尿病教室」等の啓発活動を行います。また周南市と連携し、糖尿病性腎症重症化予防活動に積極的に取り組んでいます。さらに市民公開健康講座の開催や糖尿病週間には当院独自の行事として、血液検査等を実施や専門職員による個別相談、講演会等を開催し、市民の皆様の“医療と健康”への意識を啓発してまいります。

令和2事業年度 収支予算書総括表

I 収入の部

(単位：千円)

区 分	合 計	一般会計 (病院事業) 予算額	介護老人保健 施設事業会計 予算額	訪問看護ステーション 事業会計 予算額	居宅介護支援 事業会計 予算額
1 基本財産運用収入	30	30			
2 療養費収入	30,030			30,030	
3 利用料収入	2,520			2,520	
4 補助金等収入	3,240,540	2,927,000	313,540		
5 介護報酬収入	19,698				19,698
6 受託事業収入	189				189
7 雑収入	17,757	16,701	1,039	16	1
8 繰入金収入	8,110			6,701	1,409
9 敷金保証金戻り収入					
収 入 合 計	3,318,874	2,943,731	314,579	39,267	21,297

II 支出の部

(単位：千円)

区 分	合 計	一般会計 (病院事業) 予算額	介護老人保健 施設事業会計 予算額	訪問看護ステーション 事業会計 予算額	居宅介護支援 事業会計 予算額
1 病院事業費	2,933,440	2,933,440			
2 介護老人保健施設事業費	314,079		314,079		
3 訪問看護ステーション事業費	39,267			39,267	
4 居宅介護支援事業費	21,297				21,297
5 講演会等開催事業費					
6 介護予防事業費					
7 管理費	341	341			
8 敷金・保証金支出	840	840			
9 固定資産取得支出					
10 繰出金支出	8,110	8,110			
11 予備費	1,500	1,000	500		
支 出 合 計	3,318,874	2,943,731	314,579	39,267	21,297

令和2事業年度 一般会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
基本財産運用収入		30		30	
	基本財産利息収入	30		30	
補助金等収入		2,927,000	△ 230	2,927,230	
	管理運営交付金	1,565,929	24,943	1,540,986	
	病院診療交付金	1,361,071	△ 25,173	1,386,244	
雑収入		16,701		16,701	
	受取利息	1		1	
	その他事業収入	13,500		13,500	
	雑収入	3,200		3,200	
収 入 合 計		2,943,731	△ 230	2,943,961	

支 出

(単位：千円)

勘 定 科 目		予 算 額			備 考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
病院事業費		2,933,440	△ 3,078	2,936,518	
	給料手当	1,169,206	△ 10,799	1,180,005	一般職員184人(育休等を含む。)
	臨時雇賃金	151,962	20,666	131,296	臨時職員31人、非常勤医師賃金
	退職給付費用	40,000	10,000	30,000	
	福利厚生費	204,761	5,076	199,685	
	旅費交通費	454		454	赴任旅費
	通信運搬費	5,020		5,020	
	消耗什器備品費	1,982	2	1,980	
	消耗品費	18,400		18,400	
	印刷製本費	2,050		2,050	
	図書費	4,983	△ 777	5,760	
	被服費	421		421	
	燃料費	80		80	
	光熱水費	90,000		90,000	
	修繕費	40,000		40,000	
	賃借料	55,961	△ 87	56,048	
	保険料	3,119		3,119	
	負担金支出	3,500		3,500	
	材料費	640,000	△ 32,000	672,000	
	薬品費	457,000	△ 32,000	489,000	
	衛生材料費	4,000		4,000	
	医療消耗品費	137,000		137,000	
	給食材料費	42,000		42,000	
	研究研修費	7,468	104	7,364	
	委託費	488,025	3,837	484,188	
	租税公課	2,000	900	1,100	
	雑 費	4,048		4,048	
管理費		341		341	
	役員報酬	300		300	
	旅費交通費	7		7	
	通信運搬費	10		10	
	消耗品費	10		10	
	雑 費	14		14	
敷金保証金支出		840		840	
	敷金支出	840		840	
繰出金支出		8,110	2,848	5,262	
	繰出金支出	8,110	2,848	5,262	
予備費		1,000		1,000	
	予備費	1,000		1,000	
支 出 合 計		2,943,731	△ 230	2,943,961	

令和2事業年度 介護老人保健施設事業特別会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘定科目		予算額			備考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
補助金等収入		313,540	8,726	304,814	
	管理運営交付金	212,209	8,726	203,483	
	介護交付金	101,331		101,331	
雑収入		1,039		1,039	
	受取利息	2		2	
	自動販売機手数料	263		263	
	雑収入	774		774	実習受入等
収入合計		314,579	8,726	305,853	

支 出

(単位：千円)

勘定科目		予算額			備考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
介護老人保健事業費		314,079	8,726	305,353	
	給料手当	153,777	△ 1,046	154,823	一般職員29人
	臨時雇賃金	25,126	8,355	16,771	嘱託職員1人、臨時職員9人
	退職給付費用	4,000		4,000	
	福利厚生費	29,306	1,417	27,889	
	通信運搬費	1,129		1,129	
	消耗什器備品費	300	△ 300	600	
	消耗品費	1,833		1,833	
	印刷製本費	100		100	
	図書費	100		100	
	被服費	326		326	
	燃料費	1,210		1,210	
	光熱水費	16,947		16,947	
	修繕費	3,543	304	3,239	
	賃借料	4,715		4,715	
	保険料	663		663	
	負担金支出	204	△ 54	258	
	材料費	36,405		36,405	
	薬品費	8,164		8,164	
	衛生材料費	528		528	
	医療消耗品費	3,800		3,800	
	給食材料費	23,913		23,913	
	研究研修費	404	50	354	
	委託費	33,607		33,607	
	雑費	384		384	
予備費		500		500	
	予備費	500		500	
支出合計		314,579	8,726	305,853	

令和2事業年度 訪問看護ステーション事業特別会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘定科目		予算額			備考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
療養費収入		30,030		30,030	
	療養費収入	30,030		30,030	7,150円×350回×12月
利用料収入		2,520		2,520	
	利用料収入	2,520		2,520	600円×350回×12月
雑収入		16		16	
	受取利息	1		1	
	雑収入	15		15	実習受入
繰入金収入		6,701	401	6,300	
	繰入金収入	6,701	401	6,300	
収入合計		39,267	401	38,866	

支 出

(単位：千円)

勘定科目		予算額			備考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
訪問看護ステーション事業費		39,267	401	38,866	
	給料手当	26,024	227	25,797	一般職員4人
	臨時雇賃金	5,860	440	5,420	臨時職員3人
	福利厚生費	4,455	△ 366	4,821	
	通信運搬費	279		279	
	消耗什器備品費	50		50	
	消耗品費	60		60	
	印刷製本費	120		120	
	図書費	63		63	
	被服費	55		55	
	燃料費	400		400	
	修繕費	150	△ 100	250	
	賃借料	750	200	550	
	保険料	223		223	
	負担金支出	133		133	
	研究研修費	150		150	
	委託費	230		230	
	租税公課	52		52	
	雑費	213		213	
支出合計		39,267	401	38,866	

令和2事業年度 居宅介護支援事業特別会計収支予算書

収 入

(単位：千円)

勘定科目		予算額			備考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
介護報酬収入		19,698		19,698	
	介護報酬	19,698		19,698	11,700円×1,340件(通常報酬) 3,000円×1,340件(事業所加算)
受託事業収入		189		189	
	受託金	189		189	3,150円×5件×12月
雑収入		1		1	
	受取利息	1		1	
繰入金収入		1,409	2,447	△ 1,038	
	繰入金収入	1,409	2,447	△ 1,038	
収入合計		21,297	2,447	18,850	

支 出

(単位：千円)

勘定科目		予算額			備考
大科目	中科目	R2当初予算	対前年比	R元当初予算	
居宅介護支援事業費		21,297	2,447	18,850	
	給料手当	10,073	146	9,927	一般職員2人
	臨時雇賃金	6,861	1,971	4,890	臨時職員3人
	福利厚生費	2,441	230	2,211	
	通信運搬費	300		300	
	消耗什器備品費	63		63	
	消耗品費	50		50	
	印刷製本費	50		50	
	図書費	60		60	
	被服費	20		20	
	燃料費	100		100	
	修繕費	100		100	
	賃借料	550	100	450	
	保険料	80		80	
	負担金支出	85		85	
	研究研修費	85		85	
	委託費	226		226	
	租税公課	40		40	
	雑費	113		113	
支出合計		21,297	2,447	18,850	